(社)　京都府情報産業協会　2005.10.12

第７回　事業推進委員会・議事録

開催日　：　平成 17 年 10 月 12 日　(水)　午後 5 時から午後 6 時 30 分
場　所　：　京都コンピュータ学院　京都駅前校　本館１階　インフォーメーションルーム
メンバ　：

委 員 長	総合システムサービス（株）	古川　峰生
委　　員	アド・プロヴィジョン（株）	河合　博康(欠席)
委　　員	（株）京信システムサービス	竹内　清量
委　　員	(株)ケーケーシー情報システム	小林　　聡
委　　員	島津エス・ディー（株）	山本　　孝
委　　員	竹菱電機（株）	木村　道也
委　　員	バンテック（株）	馬場　喜芳
委　　員	ワールドビジネスセンター（株）	山口　正純
委　　員	けいしんシステムリサーチ（株）	真行　栄一
事務局長	京都電子計算（株）	駒井　一正
事務局長補佐	京都コンピュータ学院	和田　壽郎
事 務 局		奥村　良三

主たる議題　（議事進行は古川委員長が行う）
1　各委員会の活動状況と検討事項について
2　慶弔見舞金規定の見直し検討について
3　その他

1　各委員会の活動状況と検討事項について

1.1「経営委員会(木村委員長より)」

①　9 月度の行事実績報告

・　第 2 回経営研究会
　日　時　　９月１５日(木)　15:00～17:00
　場　所　　京都全日空ホテル　醍醐の間
　テーマ　　プライバシーマーク取得に向けて　その 2　申請の進め方
　講　師　　(株)京信ｼｽﾃﾑｻｰﾋﾞｽ　執行役員　中谷博志　氏
　参加者　　16 名

②　10 月以降の行事計画案

・　第 3 回経営研究会
　日　時　　１０月２０日(木)　15:00～17:00
　場　所　　京都全日空ホテル　醍醐の間
　テーマ　　企業価値を高めるためには　―財務上強化すべきポイント―
　講　師　　元　京都信用金庫　職員　植村憲三　氏

・　第 4 回経営研究会
　日　時　　１１月１７日(木)　15:00～17:00
　場　所　　京都全日空ホテル　醍醐の間
　テーマ　　「定年延長」―時は今　継続雇用の 65 歳―
　講　師　　(社)京都府高年齢者雇用開発協会
　　　　　　高年齢者雇用アドバイザー　尾崎　泰雄　氏

・　第２回情報交換広場
日　時　　平成１８年２月１６日(木)　時間未定
場　所　　未定
テーマ　　「個人情報保護法施行後の各社の取り組み」
・　定例経営委員会
第３回 11 月 17 日(木)、第４回 12 月 15 日(木)、第５回２月 16 日(木)

1.2「地域情報化委員会(馬場委員長より)」
定例委員会（7 回開催/年、予算３万円）
・委員会日程、委員、ワーキンググループ（以下ＷＧ）は別添名簿参照
H17/4/12（火）16：00～18：00　バンテック株式会社会議室　８名参加い
H17/6/21（火）16：00～18：00　京情協　会議室　10 名参加
H17/8/23（火）16：00～18：00　京情協　会議室　５名参加
①　.地域情報化委員会　事業計画
ア）府民情報化新春セミナー
平成１８年１月１７日開催予定　（中川委員）予算 30 万円（予算消化額　0 円）
テーマ：空のテーマパーク“セントレア”
中部国際空港から学ぶ顧客満足追求
講　師：中部国際空港株式会社　専務取締役執行役員　廣地義範氏
イ）観光交流空間づくりモデル事業の件
1)協議会への参加　担当　河合委員　オブザー参加　島津ＳＤ山本氏
2)協議会開催　10 月以降（京都市観光企画課より実施時連絡あり）
②　.WG 活動。（計画と経過報告）
ア）京都府デジタル疏水（京都ＯＮＥ含む）　（古川委員）
地上デジタル活用部会（第 3 回）9/6 府庁福利厚生センタにて開催
社団法人京都府情報産業協会　委員　古川委員参加　ＷＧに馬場参加
京都府式「アクションプラン」について
議題：地上デジタル放送活用した地域情報サービスの検討と取組事例
・防災情報等に係る府民への情報提供事業について他
・年数回の会議を経て１２月予算（案）を含め事業決定、公表
イ）産学公連携　担当：(馬場委員)）予算 3 万円（予算消化額　19,700 円）
1) 学連携を活性化するために立命館大学との交流会の開催
7/1（金）第２回アカデミックフォーラム開催　６社８名参加
(立命館大学情報理工学部)　産学交流資料１２社配付
2) 京都産業 21 京都試作プラットホーム事業ソフトウェアクラスター作りに事業推進委員会と共に協力する。（クラスター構成期限 12 月目途）
・9/12PM3:00～同上に関わる説明会開催（京都産業 21 会議室にて）
出席者：8 社　クラスター京情協メンバー企業が複数クラスターの構成可。製造業他も含めたクラスター構成でも可。
京情協の位置付け：
・　クラスターづくりに協力はするが、仕事を受注することしない。クラスター運営における責任は持たない。
・　仕事受注はクラスターの責任企業とし、仕事及びクラスター運営における責任は持もつ。
3) 大学シーズ、企業ニーズ、企業情報、製品案内書を作成、産学公連携促進に活用する。（今年度は調査を実施、来年度はガイドブック刊行）
検討課題：
a）シーズの陳腐化。ｂ）ＲＯＭ化効果有無。c) 実施可否も含めて検討。

ウ）医療情報　　　　　関連会議予算３万円

1) どこカル・ネット　（直江委員）予算２万円（予算消化額　0 円）
総会，例会に参加　どこカル・ネットにかかる医療情報収集。

2) 医療従事者の情報リテラシィー調査・研究
（増田委員）　予算 15 万円（予算消化額　0 円）
医療従事者の情報リテラシィーを向上、地域の情報化に貢献する。

・今年度はアンケート実施、調査資料を作成する。
６月：調査対象　医院、組合、団体のリストアップ。
９月：アンケート送付、回収。
10 月～：アンケート先、訪問他聞き取り
２月：調査書作成、来年度事業計画

エ）他府県の情報産業団体との連携
（小林委員）予算 10 万円（予算消化額　65,810 円）
（WG会議　６回開催/年）必要により随時開催
5/17　第１回情報産業団体連携WG開催　ホテル京阪　　3 名参加
7/19　第２回情報産業団体連携WG開催　京情協会議室　4 名参加

・　他府県現地調査：　長崎、福岡、高知県他各県庁、及び　その県所在の
ＩＴ業界団体。
7/21：高知県情報産業協会
7/22：高知県企画振興部情報企画課
8/25：岡山県企画振興部情報製作課、同産業労働部新産業推進課
（社）システムエンジニアリング岡山
9/15：（社）和歌山情報産業サービス協会
日程、作業項目
５月～９月:資料収集　１０月～12 月：整理　１月～３月：まとめ

③　情報提供　地域情報化に関わる情報を随時提供した。
電子自治体ロードマップ
1)　2010 年を目標とするｕ-JAPAN
2)　2015 年の地域情報化
3)　ＸＭＬによるデータ標準化
4)　ｕ-JAPAN 政策パッケージと電子自治体

1.3「技術委員会(山本委員長より」

①「ＳＥ研究会キックオフ・セミナー＆交流会」を開催した
開催日時：平成１７年9月１３日（火）１６時～１９時
場　　所：平安会館
第一部　講演　「ＳＥの価値観とやる気」
講師　大阪電気通信大学 総合情報学部　教授　石桁 正士 氏
参加者　３６名
第二部　交流会
参加者　３０名

②「ＳＥ研究会」開催状況
各研究会の第１回目を以下のとおり開催した。
1) 新技術利用 ＆ 開発効率問題研究会
９月２０日(火)　　ｷｬﾝﾊﾟｽﾌﾟﾗｻﾞ京都 5 階　第 4 演習室
テーマ　新技術へのチャレンジ！　開発の効率化をはかり、技術導入を
成功させるには・・・
参加者　８名
第２回を１０月２５日に開催する予定

2) 情報セキュリティ問題研究会

９月２１日(水)　ｷｬﾝﾊﾟｽﾌﾟﾗｻﾞ京都 5階　第4演習室

テーマ　個人情報保護法施行後の情報セキュリティ対応策

参加者　１２名

第２回を１０月１９日に開催する予定

3) 品質問題研究会

９月２９日(木)　平安会館　1階　金閣の間

テーマ“ISO9001品質マネジメント”の事例を基に、品質保証を考える

参加者　９名

第２回を１０月２７日に開催する予定

③「京都情報化フォーラム開催」について

開催日時　１０月１４日（金）午後４時～

開催場所　平安会館

第一部　講演会

司会　三上副委員長

開催の挨拶　京都府中小企業技術センター　高嶋所長

演題　「ケータイビジネスを取り巻く環境とモバイルソリューションの新展開」

講師　（株）NTTドコモ関西　**ソリューションビジネス本部 ソリューション技術部長**　片山龍夫　氏

閉会の挨拶　山本委員長

第二部　会員懇親会

司会　駒井事務局長

開催の挨拶　植田会長

来賓の挨拶　京都府商工部　山下理事

来賓の挨拶　京都商工会議所　中小企業経営相談センター　坂口所長

乾　杯　北山副会長

・

・

中締の挨拶　長谷川副会長

④「オープン技術セミナー」開催について

開催日時　平成１８年2月１０日（金）　午後３時３０分～

開催場所　平安会館

演題　「ユニバーサル・コミュニケーション技術の動向と社会的・経済的効果」（仮称）

講師　総務省　情報通信政策局　技術政策課　技術企画調整官　平　和昌　氏

2　慶弔見舞金規定の見直し検討について（駒井事務局長より）

前月の事業推進委員会議事録おいて審議した改訂条文を、10月19日の理事会上程用に装丁した内容を説明した。

3　その他

①　駒井事務局長より

・上期の収支報告書の説明を行い、10月19日の理事会にも報告する旨述べる。

・「(株)ジーエス・ユアサ　インフォーメーション」より平成17年9月30日付にて、当協会を退会したい旨の届けを受けた。10月19日の理事会にも報告する旨述べる。

② 古川事業推進委員長より下記の事項について、報告説明があり 10 月 19 日の理事会にも報告する旨述べる。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

Ⅰ．地上デジタル放送活用部会の関連

① 京都府の「地域と人をむすび育てるＩＴ活用プラン」の検討委員会への参加要請に応えて 17 年度も活動中です。(理事会にも報告済み)

② ６月 7 日、7 月 26 日、9 月 6 日の 3 回の検討を重ねております。

- 防災等行政分野での情報提供推進に向けて(考え方・方向性)を纏めています。
- 府の重点施策として実証実験の実施検討を承認し、予算化に取組んで戴いております。
- 但し、予算化・補助金確保見込みに関しては楽観視できない状況です。

Ⅱ．京都試作産業の取組と京情協の役割

１) 経緯（7 月 20 日理事会で報告済み）

- 京都府・商工部の中小企業成長支援事業の一環とし、試作産業創出事業で 17 年度予算化されています。
- 商工部の活力支援室の一部が(財)京都産業 21 に派遣され、元々財団を強力に推進されているオムロン(財団の理事長：立石　義雄)と事業を推し進められています。

２）限定メンバーと京都産業２１との会合(報告済み)

- 7 月 28 日に初回の打合せを実施しました。
- 地域情報化委員会及び事業推進委員会メンバーの一部が参加しました。

３）京情協メンバーへの説明会(全会員に案内状)

- 9 月 12 日に開催し 8 社が参加しています。
- 説明内容に新規性は存在せず、ソフト関連のクラスターの核となり協力して戴きたいレベルでありました。
- 説明を受けた後、京情協メンバー(出席 8 社)だけで協議し以下に集約しました。
  受託先の選択肢としてソフトウエア試作案件を軌道に乗せるには、多くの課題が存在する事は意識しながらも、京都府が産業活性化施策として重点取り組みとして活動されている事を理解し、参加の 8 社が当面中心となり開発引合に対する受け皿になる。

４)本番実施までの期間を利用して

- ソフト関連試作の難しさ認識は京都産業２１側も保持されていますが解消手順が判らないのが現状です。
- 京都試作センター㈱の正式稼動前にトライアル的な試行期間的な動きが可能かを要望するつもりです。(10 月 17 日)

Ⅲ. 観光関連での京情協への協力要請

１）商工部　山下理事からの要請(10 月 5 日)

- ＮＥＣが観光に利用できるのでないかと考えられる装置（テレビのＳＴＢで制御し、ホテルの泊り客がジャンル別、現時点、最寄の場所で愉しめる企画・穴場等々を照会・検索が出来る？）を持ち込んできているそうです。大手旅行会社：日本旅行も参加しているようです。
- ＮＥＣ側にデモをさせる(11 月中旬頃)ので活用方向性、ビジネスモデルの企画段階で京情協にも参加・協力の要請でした。

２）可能性の追求を考慮（協力参加を前提に）

- 現時点では海の物とも山の物とも明確ではありません。
- 但し、推進するべく参加している企業・団体は面白そうな布陣と考えられます。
- デモの開催は京情協の全会員に流します。企画段階からの取組を前提としますがどのように発展するかは現段階で未定です。　　　　　　　　　　以上

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

次回委員会は、　平成 17 年 11 月　9 日(水)　午後 5 時より

場　所　　　　京コン　京都駅前校　西館　４階　会議室にて

以　上